令和７年10月22日発行

西桂町 議会だより

Nishikatsura

VOL. 126

10月５日　西桂町小学校 運動会

■ 令和６年度決算報告 ………… 2～3
■ 堀内町長９月定例会行政報告 4～5
■ 一般会計決算委員会審議 … 6～7
■ 一般会計補正・条例・請願・人事案件 8～9
■ 一般質問（安留議員、渡辺（佳）議員）10～11
■ にしかつらの今昔 ………… 12

一般会計決算賛成討論

財源の効率的な活用と持続可能な行財政運営の推進を要望

渡　辺　佳　菜　議員

令和７年９月12日に提出された令和６年度一般会計決算は、歳入37億2,412万円、歳出35億8,697万円で、差引１億3,715万円の黒字でした。翌年度繰越財源2,076万円を除く実質収支は１億1,639万円の黒字となり、健全な財政運営が維持されたと評価します。

町税では収納率の向上が見られ、職員の努力が伺えます。新庁舎建設を進めながら約4,448万円を基金へ積み立てた点も堅実です。

経常収支比率は89.4％で前年度比0.1ポイント悪化し、適正水準を超える高止まりが続いており、財政の弾力性に課題が残ります。不納欠損は約56万円、未収金は約1,248万円でいずれも減少しましたが、負担の公平性と受益者負担の観点から未収金対策の一層の強化を求めます。

一方で、実質公債費比率は7.6％と前年度より0.1ポイント悪化し、将来負担の増加が見られます。将来負担比率は29.1％で初の算出となり、今後の財政運営に不安を残す結果となりました。町債残高は24億7,416万円で前年度比３億7,751万円増。将来の財政負担拡大が懸念され、慎重な起債管理が必要です。

ふるさと西桂応援寄付金は5,672万円で前年度比559万円減。貴重な財源確保へ、全庁的な取組の継続を期待します。

人口減少や物価高騰、扶助費増、公共施設老朽化など多くの財政課題が見込まれます。限られた財源を効率的に活用し、持続可能な行財政運営を推進するよう要望し、賛成討論といたします。

監査委員報告

町民目線の計画的な事業執行と人材育成・組織の強化を

渡　辺　一　郎　代表監査委員

令和６年度一般会計並びに特別会計に係る歳入歳出決算審査の結果、歳入総額45億9,226万5,937円、歳出総額44億3,537万6,237円、歳入歳出差引残高１億5,688万9,700円となりました。

本年度から簡易水道及び下水道会計は、公営企業会計へ移行し、「独立採算の原則」により運営することとなりました。同会計への町からの負担金補助金は、１億9,700万３千円で前年度より4,076万４千円増加し、恒常的に町に依存した赤字経営であると言わざるを得ません。

水道管の老朽化度合いを示す管路経年化率は、23.8％となっており更新には莫大な資金が必要となるため、管路更新のための資金的準備をお願いします。

財政健全化判断指標のうち、将来負担比率が、当町始まって以来初めて算定され、由々しき事態となりました。要因は、借入の増加と基金の減少であります。今後、新規事業に当たっては安易な借入依存でなく、国、県からの補助金等を有効活用していただきたい。また、支出の見直しを行なうと共に、基金の積み増しをお願いし体力のある西桂町にしていただきたいと思います。

決算審査及び例月出納検査、定期監査を実施する中、組織的な議論や検討（合議）が不足しており、計画の甘さや町民への説明が不足していると思われる事業がありました。今後は、組織的な意思決定の仕組みや検討委員会等を設置し、しっかりと計画を立て、町民に分り易い情報発信を積極的に行う必要があります。

また、新庁舎をはじめとする公共施設の維持管理経費や町債の償還は、今後の財政運営に大きな影響を及ぼすことが懸念されます。各施設の利活用や運営方針等を組織内で十分検討し、町民目線で町民が必要な事業選定やコスト削減に努めていただきたいと思います。

行政を取り巻く環境の変化は激しく、ＤＸ推進のための、デジタル人材の育成は急務であります。また、ジョブローテーションの実施により、職員が多様な部署や職務を経験することにより人材育成と能力開発、組織の強化・効率化を図っていただき、住民目線での行政運営を期待しています。

住みよいまちづくりを実施

人件費

6億1665万円〔11.5%増〕

主に常勤職員給与、町長、議員及び各種委員等の報酬

その他

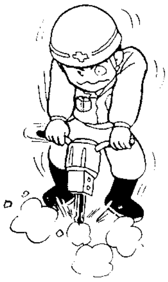
2億3155万円〔33.5%減〕

繰出金、維持補修費、積立金、出資金・貸付金

投資的経費

10億1342円〔98.8%増〕

建物の建設、道水路整備、大型備品の購入

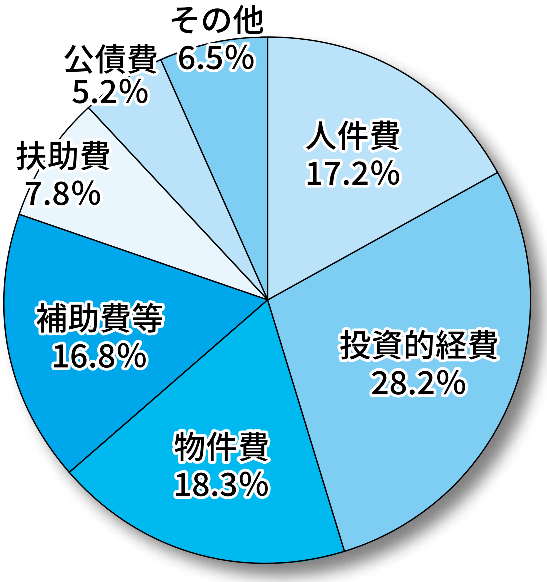


令和６年度 一般会計決算総額 35億8697万円

公債費

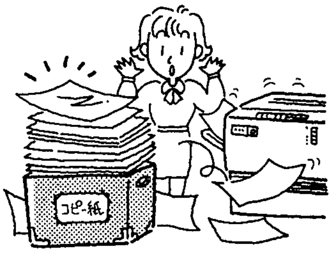
1億8781万円〔4.1%減〕

毎年度、償還すべき町債の元金、利子



物件費

6億5482万円〔41.4%増〕

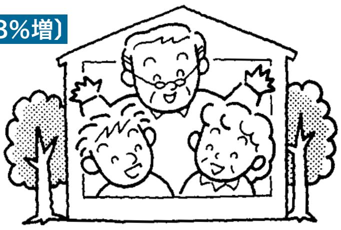


一般事務経費、備品購入費、業務委託費等

扶助費

2億8130万円〔15.8%増〕

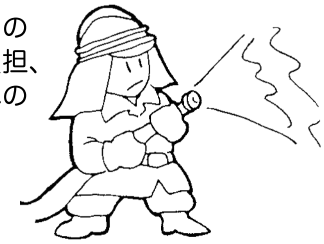
施設措置費、各種福祉手当医療費手当等



補助費等

6億142万円〔68.6%増〕

他市町村との広域業務負担、各種団体への補助等



※〔　　〕内は前年度との増減率

■**基　金（貯金）**
決算額 13億6994万円　前年度比 3億5250万円減
（1人当たり残高 35万6569円）

■**地方債（借金）**
決算額 24億7416万円　前年度比 3億7751万円増
（1人当たり残高 64万3977円）

※　町民一人あたり額は令和７年４月１日現在人口 3842 人で割った額

※　（　）内は令和６年度決算

※　簡易・下水道特別会計が公営企業会計に移行したため、当数値には反映していません。

堀内町長 行政報告

各地において大雨をもたらしました台風15号により被害にあわれた方々に対しましてお見舞いを申し上げます。

山梨県内においても、線状降水帯の発生予測が出され、当町でも警戒態勢をとりましたが、幸いにも大きな被害は確認されませんでした。

台風シーズンは続いており、気候変動等に伴う記録的な大雨や影響の長期化などにより土砂災害や河川の氾濫など大規模な災害が、いつ、どこで発生してもおかしくない状況となっております。町民の皆様におかれましても今一度、災害の備えについての確認をお願いいたします。

それでは開会にあたり、提出いたしました案件の提案理由の説明を申し上げるとともに、令和７年度の事務事業の状況についてご説明し、議員各位並びに町民の皆様のご理解とご協力を賜りたいと存じます。

防災体制の充実

備えあれば憂いなし。町ぐるみで防災強化を！

毎年、９月は防災月間と定められております。当町では、８月30日に各区や団体等のご協力をいただき、また、多くの町民の皆様のご参加をいただく中で、令和７年度　西桂町総合防災訓練を実施いたしました。

一定の成果と共に課題点も見られ、今後もいつ発生するとも知れない災害や緊急事態に備え、自助・共助・公助の意識醸成を図り、それぞれが連携して防災対策に取り組み、安心して生活できる環境づくりを推進してまいります。

また、災害時に自ら避難することが難しい高齢者や障がい者らの避難手順等を定めておく「個別避難計画」につきましては、計画的に「個別避難計画」を策定していく仕組みづくりとして、本年度においては、各区区長、地区防災リーダー、民生委員などの関係者の皆様にご協力いただく中で、各地区１名の個別避難計画策定に向け、準備をすすめております。本年度の仕組みづくりに続き、今後、支援の必要な方々の計画作成の充実を図り、安全に暮らせるまちづくりに努めてまいります。

西桂町総合防災訓練

観光の振興

3,874人の笑顔、三ツ峠に咲く

三ツ峠ふるさと夏まつり2025を例年どおり８月15日に開催いたしました。

本年度から実行委員会事務局が町へ移管されました。財政的に厳しいこともあり花火等の規模を縮小せざるを得ない部分もありましたが、多数の企業や町民の皆様から協賛金をいただき盛況に開催することができました。

なお、本年度からは熱中症対策として午後の暑さのピークタイムの外出を控えるために午後３時からのスタートといたしましたが、延べ3,874人以上のご来場をいただき、西桂町の夏

三ツ峠ふるさと夏まつり 2025

の風物詩となっている三ツ峠ふるさと夏まつりを楽しんでいただけたものと感じております。

保健・医療の充実

健診でハッピー貯まる！にしはぴ！

疾病の予防や早期発見・早期治療による医療費の抑制を図るために、特定健診及びがん検診を集団健診として実施していますが、本年度よりスタートいたしました「にしかつら de 健幸！ハッピーポイント事業 『にしはぴ！』」では、特に特定健診やがん検診を受診していただくことで、多くのポイントが獲得できるように設定し、受診者の増加を図っております。7 月に実施いたしました集団健診では昨年度を上回る受診者となりましたが、『にしはぴ！』をより町民の皆様にお知らせする中で 11 月に実施いたします集団健診での更なる受診者増に努めてまいります。

にしはぴ！　ポイント付与の様子

子育て支援の推進

いただきますで、支える子育て

子育て世帯の負担軽減を図ることを目的として、「母子家庭等対策総合支援事業費国庫補助金・地域こどもの生活支援強化事業」を利用し、学校の長期休業期間中に昼食を提供する取り組みを開始しました。本年度の夏休み期間中の学童利用者のうち、希望された保護者・児童に対し昼食の提供を試行的に行いました。

学童利用の保護者や実際に食事をされた児童に対し実施したアンケート結果等を分析し、今後も更なる子育て支援の推進に努めてまいります。

地域福祉活動の充実

あなたのそばに、民生委員

一人暮らしの高齢者が地域の中で孤立せずに安心安全に生活できるように、本年度、民生委員の皆様による一人暮らしの高齢者への声かけ訪問を実施いたしました。初年度ということもあり、声かけ対象者の選定や声かけ方法など、民生委員の皆様で話し合い、約 40 名の方へお声かけをしていただき、新たな福祉サービスにつなげることができた方も含めまして、高齢者の安心安全を確認することができました。今後も、民生委員の皆様をはじめとします地域の方々のご協力をいただきながら、地域福祉の充実に努めてまいります。

学校教育の推進

子どもたちに、最先端の学びを

当町の GIGA スクール構想にともなう児童生徒 1 人 1 台端末の整備については、令和 2 年度に、児童生徒全員への環境整備が完了しているところですが、導入から 5 年が経過し、NEXTGIGA として、公立学校情報機器整備事業費補助金を活用し、現在端末の入替整備を行っております。

来年 1 月には児童生徒全員が、新たな端末で学習ができる環境整備が完了する予定であります。

次に、学校教育施設の整備・充実です。小中学校の環境整備について、小中学校の特別教室の空調設備の整備を図っております。本年度は事業に向けた詳細設計を行い、学校施設環境改善交付金を活用し、令和 8 年度中には、小学校特別教室 4 教室、中学校特別教室 5 教室の空調設備の整備を図って参ります。

タブレット端末

令和6年度 一般会計決算

認定第１号　令和６年度西桂町一般会計歳入

（主な委員質疑、歳入）

渡辺（正）委員長　町税の収入未済額について、現年分と過年度分の件数金額を教えてください。

小山税務住民課長　収入未済額ですが、個人住民税の現年分が 34 名 69 件で約 128 万 9 千円、滞納繰越分が 41 名 59 件で約 86 万 8 千円。法人税現年分が 2 社 2 件で 18 万円。固定資産税現年分が 37 名 114 件で 106 万円、滞納繰越分が 32 名 258 件で約 214 万 7 千円。軽自動車税の現年分が 8 名 9 件で約 5 万 7 千円、滞納繰越分が 15 名 36 件で約 15 万 6 千円です。

菅谷委員　町税の収入未済額について、令和 2 年度は約 1,429 万円で、令和 6 年度は約 576 万円と減少している理由を？

小山税務住民課長　令和 4 年度より徴収係を専門として配置したことの効果が大きいです。12 月の滞納整理強化月間の実施も含めて日常的に収納対策を実施しているところです。

菅谷委員　西桂町の自主財源確保のためにも、徴収強化をお願いします。

安留委員　滞納対策が緩すぎます。定期的な督促を実施していると思いますが、町の財源の根本となる部分なので、職員一人ひとりが意識をもって対応を。

小山税務住民課長　厳しく徴収することは当然ですが、生活困窮者の見極めもしていきながら、悪質な滞納者には訪問等による対応して行きたいと思います。

渡辺（佳）委員　学童クラブ保護者負担金ですが、利用者としては有難いのですが、財政健全化という視点では、全国平均が 3 千円から 1 万円となっており、現在の負担金 500 円でどのような費用対効果が出ているのか？

川村子育て支援課長　学童クラブ保護者負担金は、他市町村と比較して安価であることは事実です。子育て施策として値上げの予定はありません。全国平均と比べて安価であることから、一定の成果が出ていると思われます。

渡辺（佳）委員　私も子育て世代の 1 人ですので、安価であることは非常に助かるが、負担金を値上げすることで、財政健全化とサービス向上という面で、低所得者やひとり親家庭へ配慮しつつ、全国平均に合わせていく方向も検討するべきでは？

川村子育て支援課長　現在の金額で運営していくことに限界がある場合は増額することになりますが、全国平均額がなぜその金額で運営しているのかを調査し、検討することになります。

奥脇委員　高濃度 PCB 処理費に係る補助金は決算上のどの費目にある？

佐藤総務課長　高濃度 PCB 処理費は、4,900 万円の見込みでしたが、補助金形式ではなく、軽減措置をされて約 2,282 万円を支払いました。よって、補助金としての歳入費目はありません。

（主な委員質疑、歳出）

奥脇委員　情報処理費が伸びているのは認識していますが、具体的にどの部分が増額となったか？

佐藤総務課長　職員用 PC を全台ノート PC とし、リース初年度で約 518 万 8 千円の増額。基幹系業務システム標準化に係る移行対応準備が 1,229 万 8 千円の増額。また、コンビニ交付のサービス導入業務委託が約 635 万 8 千円の増など、主にこれらのものが増額となりました。

奥脇委員　情報処理費に係る補助金は？

佐藤総務課長　国庫補助金で、社会保障・税番号制度システム整備費補助金及びデジタル基盤改革支援補助金のうち情報処理費に係る補助金は、両補助金で約 1,700 万円となっています。

渡辺（正）委員長　歳出の不用額全体について、令和 6 年度予算は効果的に執行されたと理解したいがいかがなものか？

川村企画財政課長　緊縮財政の中でも、歳入は少なめ歳出は多めにという計上をしています。また、歳入は歳出額を固めた上で計上している部分もあります。近年の物価高騰の部分も見込んだ結果として、令和 6 年度は 1 億を超える不要額が出たと

歳入総額　37億2412万円
歳出総額　35億8697万円
差引き額　　1億3715万円

9月定例会

令和７年西桂町議会９月定例会は、９月12日から26日までの15日間の会期で開かれました。
町長より承認１件、条例案２件、議決案件１件、補正予算案５件、決算認定７件、人事案件１件の計17件、議員より発議１件が提案され、全ての議案は原案のとおり承認・可決・認定されました。

歳出決算認定について

いうことになりました。
酒井委員　こども家庭センターを設置する予定は？
川村子育て支援課長　令和８年度までの設置となっており、検討して議会に報告できる段階で報告させてもらいます。
藤江委員　子育て支援事業に参加する人を待つだけでなく、こちらから公民館等に出張したり、訪問することもよいと思いますが？
川村子育て支援課長　保護者が参加しやすい環境整備や、参加しない理由を多面的に検証し、参加者が増加するよう検討していきます。
安留委員　三ツ峠グリーンセンター施設管理事業が約1,408万円かかっていますが、詳細を？
川村企画財政課長　ハード面ではなるべく指定管理者の要望に応えているところです。リニューアルオープンに係る備品購入や監視カメラ設置等の修繕を行いました。
安留委員　飲食は粗利率が高いので力を入れて頂きたい。
堀内町長　指定管理者に改善要望を出しているところです。
安留委員　夏まつり補助金500万円ですが、本年度の花火が例年に比べて縮小された理由は？。
川村企画財政課長　昨年度は786万5千円で実施しており、繰越金が約156万円と約130万円の協賛金を集めて頂き、約352万円で花火を実施しました。本年度は202万7千円の協賛金を頂いています。補助金の殆どが会場設営費にかかります。また、本年度は協賛金を含めて約220万円で花火を実施ししたので、昨年度と比べて約130万円の減額となりました。
堀内町長　早めに協賛金を募る等の対応や、補助金を増額することも検討していきたいと思います。
渡辺(正)委員長　ふるさと納税が1億5千万円計上されています、昨年並みにに推移したとしても、約1億円の財源不足となります。現時点で4億1,887万6千円の基金繰入を計上している本年度において、留保財源を差し引いた2億4,581万3千円を歳出削減しないと、基金を取り崩す状況になります。この状況を踏まえて、町長及び教育長に所見をお伺いします。
堀内町長　歳出の削れる所は削減し、ふるさと納税へ力を入れていき、残り半年間を勤めていきたいと思います。
川村教育長　目的基金が少なくなってきているのは、その目的のために充当したと思いますが、小さな予算で大きな仕事をするようにし、余剰があれば積立をするということだと思います。

令和６年度 特別会計・事業会計決算額　全員賛成

会　計　名	歳入総額	歳出総額	差引額
国民健康保険特別会計	3億5284万円	3億5006万円	278万円
後期高齢者医療特別会計	1億　464万円	1億　463万円	1万円
介護保険特別会計	4億　944万円	3億9264万円	1680万円
介護予防支援事業特別会計	123万円	108万円	15万円
簡易水道事業会計	1億　136万円	8650万円	1486万円
下水道事業会計	1億7188万円	1億5616万円	1572万円
合　　計	11億4139万円	10億9107万円	5032万円

（１万円未満四捨五入）

認定第５号　令和６年度西桂町介護予防支援事業特別会計歳入歳出決算認定について

渡辺(正)委員長　介護になる前に予防をするという事業の今後の見通しは？
小川福祉保健課長　介護予防に関する事業は、主に介護保険特別会計の地域支援事業費の中で転倒予防教室等の体操教室や、地域の皆様の協力により実施されているいきいき交流会等の集いの場づくりがあります。今後、第10期介護保険事業計画の策定にあわせて、より充実した事業内容となるよう取り組んでまいります。
渡辺(正)委員長　動くことや人との会話をすることで、心が健康になっていくこともありますので、実施して頂きたいと思います。

令和６・７年度 西桂町特別会計・事業会計補正予算額及び主な経費

会　計　名	審議結果	補　正　額	補正後の予算総額
令和６年度下水道事業会計補正予算（第４号）（専決処分）	承認（全員承認）	０万円	３億　７９７万円
「第８項返還金」の31万４千円を「第３項企業債償還金」へ科目更生			
令和７年度国民健康保険特別会計補正予算（第１号）	可決（全員賛成）	△１０２万円	３億８７７５万円
システム改修所要見込み減　△１７４万円 一般被保険者保険税還付金　６０万円			
令和７年度後期高齢者医療特別会計補正予算（第１号）	可決（全員賛成）	△６万円	１億　９９９万円
システム改修所要見込み減　△２５万円			
令和７年度介護保険特別会計補正予算（第１号）	可決（全員賛成）	１４６４万円	４億　６５７万円
前年度介護保険給付費国庫等負担金返還金　１４０４万円			
令和７年度下水道事業会計補正予算（第２号）	可決（全員賛成）	７２万円	１億６１８１万円
下水道汚水桝取り出し　７２万円			

議案第32号　令和７年度西桂町一般会計補正予算（第２号）

酒井委員　西桂町地域おこし協力隊経費のイベント出店の詳細を？
川村企画財政課長　東京ビックサイトにて、３日間行われるGood,Lifeフェアイベントに出店する経費です。
酒井委員　三つ峠グリーンセンター管理事業の水車小屋屋根修繕及びコテージエアコン入替の説明を？
川村企画財政課長　体験工房を使用する団体が使用する備品を納めてある、水車小屋の屋根の雨漏りに対応するために修繕費を計上しました。また、一番大きいコテージの２階にエアコンが無く、本年の猛暑により、窓を開けても暑さで耐えきれないことから、２階にエアコンを１台設置して欲しいとの要望がありました。
酒井委員　それ以外のコテージには、エアコンは入っていますか。
川村企画財政課長　先ほど説明した一番大きいコテージの２階以外は、全てのコテージにエアコンが入っています。
酒井委員　お客さんが快適に過ごせるよう、また、来ていただけるような環境整備をお願いします。
酒井委員　定住対策経費28千円は、移住相談会実施のためということですが、年間の実績等の詳細を？

川村企画財政課長　昨年度まで移住相談会に参加しておりません。移住する空き屋の登録も若干あるということで、東京で実施する富士五湖暮らし相談会に参加するためのものです。

藤江委員　教育委員会運営経費について、心理検査委託費20万円を計上した状況は？

前田次長　山梨県総合教育センターに委託して発達検査を実施しています。調査ができにくい４名の委託費を計上しました。

藤江委員　検査結果により体制整備が必要になると思いますが？

川村教育長　新入学生が、検査結果により特別支援学級に行くかどうかという検査をしなければなりません。県と打合せを実施し、その結果により体制を整備していくということです。

藤江委員　手厚いサポートをお願いします。

９月定例会・条例改正・議決案件

条　例　名	審議結果	主　な　内　容
西桂町職員の育児休業等に関する条例の一部改正について	可決（全員賛成）	地方公務員の育児休業等に関する法律の一部改正等に伴う関係条例の改正。
西桂町職員の勤務時間、休暇等に関する条例の一部改正について	可決（全員賛成）	地方公務員の育児休業等に関する法律の一部改正等に伴う関係条例の改正。
物品購入契約の締結について（令和7年度小中学校における1人1台端末の導入（小学校））	可決（賛成多数）	小学校へ児童分213台と教職員分33台のタブレット導入に伴う費用

請願書　処理状況

　下記請願は採択と決し、令和７年９月26日付けにて、請願の趣旨に基づき関係機関に意見書を提出いたしました。

件　　名	学校の働き方改革･長時間労働是正の実現のための教職員定数改善と「カリキュラム･オーバーロード」の改善及び義務教育費国庫負担制度拡充を図るための請願書
請　願　者	南都留地区ＰＴＡ協議会、南都留地区公立小中学校長会、南都留地区公立小中学校教頭会、山梨県教職員組合南都留支部
請願の要旨	学校の働き方改革・長時間労働是正を実現するため、加配の増員など教職員定数改善、及び義務教育費国庫負担制度拡充が図られるよう、国の関係機関に意見書を提出すること

令和７年度 西桂町一般会計補正予算額及び主な経費

会　計　名	審議結果	補　正　額	補正後の予算総額
一般会計補正予算（第２号）	可決（全員賛成）	１０１９万円	３１億２２２８万円

三ツ峠グリーンセンター水車小屋屋根改修及びコテージエアコン入替	５３万円
販路開拓事業補助金及び創業支援事業補助金見込み増	１００万円
倉見下沢砂防事業に伴う水路改修用地登記業務委託料及び用地購入費	１０２万円

選任に同意

藤江　栄一 委員（柿園）

固定資産評価審査委員会委員

安留重雄 議員 一般質問

問 財政健全化について

12月定例町議会において、町長の所信表明の中で財政健全化への姿勢が示されましたが、今後の歳入については不透明要因が多く、特に令和８年度には税収減の懸念もあります。ふるさと納税の目標額１億５千万円の推移、旧庁舎の解体なども控えており、将来的な財政運営に不安があります。歳入歳出の全体的見直しを踏まえ、町としてどのような方策を講じていくのか、町長のご所見を伺います。

町長答弁

令和６年度の一般会計決算は、新庁舎建設費の影響により前年度より９億円以上増加し、将来負担比率が初めて数値として発生しました。財政指標として、財政力指数 0.29、経常収支比率 89.4%、実質公債費比率 7.6%、将来負担比率 29.1%となっており、今後も扶助費や施設維持管理費、公債費などの財政負担は増加する見込みです。

そのため、①全事業の見直しによる経費節減、②企業誘致や使用料見直しによる自主財源の確保、③施設の計画的な維持管理、④補助金や交付税措置の活用による建設事業の精査を進め、持続可能な財政運営を目指します。

再質問

町長の答弁は方向性として理解しますが、全体的に抽象的で、将来の展望が見えにくいと感じました。財政健全化に向けて、職員の意識改革をどのように進めていくのか、業務の効率化や職員の主体性、庁内の自由な意見交換の仕組み、町民との対話の機会、共創型町政の考え方、令和８年度予算への意見反映の方針について、具体的な取り組みがあればお示しください。

町長再答弁

現在の財政状況は直ちに破綻を招くものではありませんが、人口減少や社会保障費の増大など、中長期的には財政圧迫が避けられない状況にあります。そこで、財政シミュレーションの見える化を進め、町民・各種団体の声を積極的に反映させていきます。

職員については、財政の背景や影響を管理職を通じて共有し、庁内に「職員提案制度」を導入することで、自ら考え行動できる環境づくりを進めます。令和８年度予算では、ゼロベースでの事業見直しと徹底した費用対効果の検証を行い、国・県補助金や交付税措置を最大限に活用します。また、議会資料の公開や多様な媒体での発信を通じ、透明性ある町政運営に努めます。

【最終意見】

現時点で町が即座に財政破綻に至る状況ではないものの、令和６年度に「将来負担比率」が初めて現れたことは、今後の財政に大きな課題があることを示しています。財政の厳しさに対し、行政側の認識はやや甘く、従来の延長線上では対応できない状況にあると受け止めています。

いま必要なのは、実行と行動です。職員一人ひとりが危機感を持ち、庁内での自由な意見交換を活発化させ、町民と行政が一体となってこの課題に取り組む「共創型の町政運営」が求められています。議会もともに汗をかき、協力しながら、西桂町の持続可能な未来の実現に向けて力を尽くしてまいります。

答弁は結構です。今こそ、行動の時です。

渡辺佳菜 議員 一般質問

問 夏休みの昼食提供事業について

保護者の皆さまの８割が実施を望まれる一方で、実際の利用は４割にとどまりました。そこで、３点についてお伺いします。

第一に、学童利用児童だけでなく、学童を利用していない児童にも公平に支援が届く仕組みを、どのように構築されるのか。第二に、衛生管理やアレルギー対応などで増えた職員の負担に対して、増員や配置基準の見直し、研修、手当なども含めた職員体制の整備を、どのように具体化されるのか。第三に、補助金終了後も継続可能な町独自の財源確保策や代替スキームを、どのように設計されるのか。子どもたちの成長や安心を守るため、持続可能で公平な制度の構築を、強く願います。

町長答弁

まず「児童福祉と公平性」についてですが、本事業は補助金を活用し、学童を利用する家庭の負担軽減を目的に実施しました。未利用家庭への支援も重要な課題であると認識しており、他の補助事業の活用を検討してまいります。「職員体制」については、食物アレルギー対応を整備し、役場職員が配食を担当しております。今後は有償ボランティアの活用なども検討し、体制強化を図ります。「財源」については、補助事業終了時は目的達成としつつ、ニーズがある場合は受益者負担の増加も含め、継続の可能性を検討いたします。

再質問

補助金を活用した学童対象事業は、制度趣旨から見ても、学童未利用児への支援も可能であり、本町としての解釈や拡充方針を明確に示すことが必要です。職員体制については、現場任せや有償ボランティア活用だけでは課題があり、専門性を持った人材の確保や現場負担軽減策の具体化が求められます。財源面についても、補助金終了後に安定的に事業を継続するため、町独自の財源や仕組みを明示していただきたいです。

町長再答弁

今回の事業は、公約である学童給食提供の推進を目的に、試行的に実施したものです。学童を利用しない児童への支援については、今後の状況を見ながら検討してまいります。職員体制は、計画的な人材確保や DX 導入により、改善を進めてまいります。財源については、多額を要しない事業であることから、必要性が確認された場合は町単独事業として一般財源を活用し、継続していく考えです。

【最終意見】

現場で頑張る職員の健康と安心を最優先に守ることが、子どもたちへの質の高い支援につながります。子どもたちの食や安全に直結する事業は、必要な人員や体制、財源をあらかじめ整え、計画的に進めることが不可欠です。児童福祉としての食支援は、子どもたちの健やかな成長の基盤となります。「一般財源で対応する」という説明だけでは不安が残りますので、具体的な予算や財源の裏付け、施策の優先順位を明確に示していただきながら、職員、子ども、そして家庭の安心を守り、持続可能な制度として未来につなぐ取り組みを、心から強く要望いたします。

にしかつらの

今 昔

三つ峠駅

昔

今

昭和 37 年の三つ峠駅は、人と列車の音が行き交うにぎわいの場でした。改装された今の駅舎は便利になりながらも、その懐かしい面影を残しています。駅は町の顔であり、世代をつなぐ記憶の場所です。あの頃を思い出しながら、これからの三つ峠駅をどう育てていくのか。未来への物語は、私たちの手にあります。

発行責任者　西桂町議会議長　藤江雅江
編集委員長／奥脇友賢　　副委員長／渡辺佳菜　　委員／安留重雄・菅谷　順・渡辺正芳　　編集／西桂町議会広報編集委員会